

### 駿馬北小 世界遺産宮原坑でマネキンチャレンジ!

毎月第3日曜日に、世界文化遺産「宮原坑」で子どもボランティアガイドを行っている駿馬北小学校の児童が、マネキンチャレンジ(マネキンのように動かない人々を動画で撮影)に挑戦しました。撮影当日には、多くの市民の方々も様々な役柄でマネキンに扮していただきました。



子どもたちは、ボランティアガイドをしている場面や、やぐらん煎餅を販売している場面で一斉に静止し、よい作品が出来上がりました。この動画は、大牟田市公式YouTubeアカウント「ほっとシティ おおむたチャンネル」などで公開されています。ぜひご覧ください。この1年間、駿馬北小学校の子どもたちは、九州市長会など様々な機会においてボランティアガイドをするなど、大活躍しました。

### 大牟田市立吉野小学校の実践

#### 「大牟田の未来をえがこう ～大牟田の宝～」

吉野小学校の6年生は、総合的な学習の時間での世界遺産見学を通して、大牟田の石炭の歴史や、それらを守ろうと努力している方々に出会いました。校区内にある新大牟田駅でパンフレットや新聞、ポスターで大牟田の宝についてのPRや他地域への発信を計画しています。20年後の大牟田について語り合っていく中で、あらためて大牟田の宝の素晴らしさ、大牟田のよさに気付くことができました。



### 大牟田市立松原中学校の実践

#### 未来のまちづくりに参画する生徒をめざして

本校の2年生では、「大牟田市を自分たちが住みたいまちにしてい くための課題解決策を提案しよう」を学習課題に、6つのグループに分かれ、大牟田・荒尾の世界遺産や史跡を見学したり、環境・エネルギー施設や伝統地域文化や祭りを継承するする人や産業・農業・漁業に関わる人や会社を訪問したりして、地域の文化・歴史や大牟田の現状を知り、大牟田が抱える課題を見つけ、その課題の解決策を考えました。また、解決策の発表会に市議員や市役所の世界遺産・文化財室の方を招いて意見やアドバイスを頂きました。

その発表会の様子が有明新報で紹介されたこともあり、大牟田市役所環境課から「環境・エネルギーグループ」の解決策を参考にしたいと本校を訪問されました。そこで、「RDF発電授業終了後の大牟田市のごみ処理・ごみ問題」の解決策として提案した「電子マネーカードやアプリを利用したポイントシステムを導入したりサイクルと地産地消を関連した推進案」を紹介しました。

また、この解決策は、ESD日米教員交流での共通テーマ「食が与える環境への影響を知り地産地消を進める」でアメリカの学校に紹介されました。この学習を通して、自分たちの住む大牟田市のよりよい未来づくりに主体的、継続的に参画する態度を養うことができました。

また、大正小・中友小と協力して「難民キャンプに服をおくろうプロジェクト」を行い、難民キャンプに1100着以上の子供服を送るとともに、難民キャンプで活動した人に講話をしていただき、海外へ視野を広げる活動を行いました。



↑ 写真  
上: 発表会のようす  
下: 難民キャンプに服をおくろうプロジェクトで集めた服